



ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2019年6月1日

6月号・第209号

奈良・人と自然の会

会長 鈴木 末一



<大通りからの入り口階段の整備>



Contents



ホームページでは、**カラー**で見ることが出来ます

URL <http://www.naranature.com>

壮春力歩	1	ならやま投句箱	10
Monthly Repo. ならやま	2	字遊字感	11
私のふるさと	3	Galleryならやま	12
里山の今	4・5	仲間に入りました	13
ならやま虫だより・花だより	6	ならやまプロジェクト	14
天平祭・報告	7	行事案内1	15
通常総会・報告	8	行事案内2、奈良学クイズ	16
5月歴文研修会・報告	9	幹事会報告・編集後記	17



地球荒廃は 人間のおごり

会長 鈴木 末一

世界 132 カ国の政府が参加

する「生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム」(IPBES)が5月上旬、パリで開催されました。人類の活動によって約100万種の動植物が絶滅危機にさらされている、と警告する報告書を発表しました。

自然環境は地球上のあらゆる場所で、かつてない速度で衰退しており、最大の原因は人類の食糧とエネルギー需要が拡大し続けているからだと言われています。IPBESは、衰退の動きは食い止めることができるものの、それには人類の自然への関わり方が全面的かつ「抜本的に変化」する必要があると結論づけています。1800 ページに及ぶIPBES 報告書は、3 年間にわたり研究調査して得た1万5千点の資料を集大成したものです。私たちの農作物を受粉させるハチ、土壌に水を蓄え洪水を防ぐ森林など、人間の活動そのものが自分たちの社会を支える自然環境を破壊している様子を明らかにしています。「政策決定者のため」として、パリ会合で発表された40 ページの要約は、地球にしか住む場所のない人類が、いかに地球を荒廃させてきたか、かつてないほど厳しく糾弾をしています。確かに歴史上、人類は常に地球環境に影響を与えてきたものの、かつてはかすり傷程度にしか過ぎなかったのが、過去50年の人間活動によって地球環境が負った傷は極めて重傷であり、深刻だと要約は指摘しています。

1970 年以来、世界人口は倍増し、世界経済の規模は4倍に成長し、国際貿易の量は10倍に増えました。膨れ上がる人類に十分な食料と衣類とエネルギーを与えるため、各地で森林が驚くほどのペースで切り倒されてきました。特に熱帯地域の森林が、とてつもないペースで減少しています。1980 年から2000 年の間に失われた熱帯林の面積は、1 億ヘクタールにも及ぶとか。南米での牧畜と東南アジアのパーム油生産が、その主な原因のようです。森林よりさらに破壊の度合いがひどいのが湿地帯で、1700 年にあった湿地帯のうち

2000 年にも残っていたのは13%に過ぎないとのこと。各国で都市部は急速に拡大し、都市地域の面積は1992 年から倍増しました。人類のこうした活動によって、かつてないほど大量の生物種が死滅しています。

報告書は、動植物の25%の種が絶滅の危機にさらされていると指摘しています。昆虫への地球規模の影響は分かっていませんが、地域によって昆虫が急速に激滅している様子は詳しく記録されているようです。様々な現象を総合して、IPBES は約100万種の動植物が数十年のうちに絶滅するであろうと警告。この絶滅のペースは過去1000 年の平均より10 倍から100 倍速いといわれています。

報告書の統括執筆責任者の1人、米ミネソタ大学のケイト・ブラウマン博士は「生物多様性と自然が本当にかつてないほど衰退している様子を記録した。衰退のペースや脅威の規模という意味で、人類史上このような現象はまったく前例がない」「すべてを並べてみたとき、生物種の衰退があまりにひどくて、自然環境が人間に与える恩恵がどれほど失われるのかを見て、衝撃を受けた」と博士は言っています。

地球上の土壌もかつてないほど劣化しているため、地表の生産性は23%も後退しているといわれています。人類の飽食によって巨大なゴミの山が積み上がり、プラスチック公害は1980 年から10 倍に増え、私たちは毎年、3 億~4 億トンもの重金属や溶剤、有毒ヘドロなどの廃棄物を地球の海や河川に投棄しているとのこと。

これほど多くの生物を絶滅の危機にさらしている要因は複数ありますが、報告書によれば土地利用の変化が主要因だとしています。要するに、草原を集約農業の耕作地に切り替えたり、原生林を農園に変更したり、耕作のために森林を伐採したりする活動を意味しています。こうした土地利用の変化は世界各地で、特に熱帯地域でさかんに行われています。1980 年以来、農業生産拡大の半分以上は原生林の破壊によって実現したのです。

「子孫から借りている自然だから」を、私たちは忘れてはなりません。

Monthly Repo. ならやま

八木 順一

4月25日(木) 活動 曇り 75名+2名

蒸し暑い。そして平成最後の活動日。会長からはこの年号中での活動に対して、感謝の意が表される。また、新聞に載った図録の記事の紹介も行われる。近大から先生を含め3名の来訪。西池にタガイの放流を行う。里山Gでは、倒木整理の他、イベントの準備、エコGはカボチャ等の夏野菜の



植え付け、そして景観Gは竹林整備とタケノコ掘りを行う。またビオ班はタナゴ池整備、花班はハナショウ

ブ園の柵作り、パトGはA地区のパトロールと倒木処理を行う。その他果樹班は鹿よけネット張りに取り組む。

5月2日(木) 活動 晴れ 76名+1名

令和最初の活動は、10連休の真ん中になるが、80名近い会員が集まる。打ち合わせでは早速会長からこの話が話題に出る。その他、新入会員のオリエンテーションや倉庫の整理のための打ち合わせ実施の予告、そして天平祭開催のお知らせが改めて連絡される。15名の会員がお手伝いに参加する予定だ。シニア生1名。里山Gは実りの森や部分皆伐地区の伐倒木の処理、エコGは陸稲の種まきや野菜の植え付け、そして景観GはBC近辺の草刈りを行う。またビオ班は水生生物調査、花班



はウマノスズクサの枝立て、パトGは観察路階段の杭打ちと1・2コースのパトロールに出る。

5月9日(木) 活動 曇り 81名

連休明けの活動日。多くの参加者が熱心に活動に参加する。打ち合わせでは過日の天平祭の報告や通常総会への参加要請の他、「花王・みんなの森づくり助成」



の活動報告会出席の件などが報告・連絡される。昼食後には備品管理についての

話し合いも行われる。里山Gは薪割りと枯死木伐採・整備、エコGはサツマイモやナス等の植え付け、景観Gは彩の森を中心に草刈りを行う。またビオ班は草刈りや池整備、花班はアイリスの草取りや施肥、そしてパトGは3コースのパトロールと観察路階段杭打ちを実施。その他、果樹班は鹿よけネットの補修とブルーベリーの水やりに取り組む。

5月16日(木) 活動 晴れ 80名

朝から暑い。また、朝礼の直前には会員が倒れる、といったハプニングが。早速救急車の手配を行う。これからも暑い気候が予想されるが、健康の保持には十分留意したいものだ。打ち合わせではこの件の他、備品の整備についての打ち合わせ、そしてパトロール班から昼にグミの観察会を実施するという連絡もある。里山Gは枯死木の伐採・草刈りや薪割



り、エコGは陸稲の種まきの他、畑の畝作り・追肥やり、そして景観Gは実りの森と彩の森

の草刈りを行う。またビオ班は池の整備、花班は花畑の草引き、パトGは4コースのパトロールと丸太階段の補修やロープ張りを行う。加えて果樹班はブルーベリーの水やりに汗を流す。

私のふるさと

冒険心に
突き動かされて

澤田 好男

私は、大阪市内の鶴橋駅の近くの病院で生まれました。居住地は生野区です。市内の中心部にもかかわらず、300 坪を超えるほどの大きな敷地を有する家に生まれました。

街には材木問屋が並び、どぶ臭い川が何本か流れていました。自然との関わりはなさそうな地域でしたが、庭には、八朔・甘柿・金柑・グミなど実のなる木があったり、畑で家庭菜園をしたりしていました。祖父の趣味が盆栽で、たくさんの鉢植えがありましたし、メダカのいる睡蓮鉢がいくつもあったり、文鳥・十姉妹・カナリヤ・インコを何羽も飼っていたりしました。犬は常に 2 頭はいました。このように、土や生き物に触れられる環境でありました。

人と関わるよりも、自然と関わる方が気楽だという性質は、このころに培われたように思います。

小学校は、天王寺区の生魂小学校に越境していました。「環状線の内側の方がエリート」というような意識が親にはあったのだらうと推測します。

幼稚園の友だちと離れ、遠くの学校に通うことは、私にとっては寂しく迷惑なことでした。しかし、小学校 1 年生から、市バスや地下鉄を利用して通学したことは、私の冒険心を育てる意味では大いに役立ったと思います。切符や料金の受け渡しさえできれば、どこへでも行けるのです。たまに居眠りしてしまい、終点の生野車庫停で運転士さんに起こされるのも、今から思えば少しずつ世界を広げることになっていました。

私には、第 2・第 3 のふるさとがあります。

ひとつは、ニュージーランドのオークランド市にあるテアタトゥ・サウスという小さな街です。大学を卒業する直前に、4 週間、ホームステイをしました。スバルのレーシングドライバーをする父と、教員をする母、そして、2 人の子供のいるお宅でした。平日は近くの小学校内にある教室で英語を学び、週末には文化体験や観光に出かけた

りました。原住民マオリ族の村を訪れたことや、独特の植生を持つニュージーランドの山林を歩くブッ



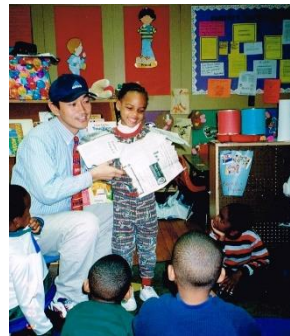
NZ オークランドで乗馬

シュウオークにはとても興奮しました。

2017 年に、29 年ぶりに同地を訪ねたことがありました。街並みが少し変わっていて、家は見つけられませんでした。小学校は同じ場所にあり、事情を話すと、快く受け入れてくださり、見学や交流をさせていただくことができました。

もうひとつは、アメリカ・バージニア州のファンビルという田舎街です。31 歳の時に、文部省(当時)による海外派遣教員に選ばれ 3 カ月間滞在することができました。こちらもホームステイで、高校教員の父、小学校教員の母、小学生の双子のいるお宅でした。

毎日、お母様と小学校に通い、授業を見せてもらったり、授業をさせてもらったりしました。家庭訪問に同行させてもらったり、ボランティア活動に参加したり、教師人生にとってとてもプラスになる経験を沢山することができました。



ストーリーテリング

こちらには、未だ再訪は叶っておりませんが、いつか行ってみたいと思っています。

ついでに、もうひとつ挙げるとすれば、中国青島市です。日本人学校教員として、2007 年から 3 年間駐在させてもらいました。この時出会った仲間とは、今も交流を続けています。

さて、上記のように、私が知らない場所に行きたくなったり、新しいことに興味を持ったりするのは、幼少の頃の体験がバックボーンにあるのだらうと思うのです。「私のふるさと」が今も私を突き動かしているようです。

里山グループ**里山の今****エコファームグループ**

◆ミツバツツジの並木道を夢見て

戸田 博子

少し季節はずれてくるが、里山の春を告げる木の花としてコバノミツバツツジがある。

まだ冬の色を残している中で、明るい紫色とも桃色ともつかない花は、1本あるだけで森を明るくする。

昨年秋、台風で多くの木がならやまでも倒れた。テントから東に向かって走るサイクリング・ロード横のナラの大木も被害を受け、切り倒された。

その跡地に、コバノミツバツツジを里山Gで移植を試みた。元々ならやまにある木だから、うまく根づくかもしれない。

小低木なので、日陰は作らないかもしれないけれど、ならやまに春を告げる花を咲かせ、歩く人、自転車で通るグループの目を楽しませる並木になってほしい。

令和に改元した年に植えた「あなたたち？」。

食べ物が少ない時期に、鳥や小さな昆虫たちに蜜を提供する存在になってほしい。



温暖化による気候変動や、異常気象のための、大型台風にも負けずに頑張っている。

「あなたたち」の仲間が増えますように、私たちもお手伝いしたいと思っている。

◆我が家の山の畑

大畑 むつみ

我が家の畑は「ならやま」のまねしい畑です。ひたすら「ならやま」から学んでいます。

5年ほど前から知り合いの山の畑の一角を使わせてもらっています。畑といっても放置されていたので草は茂り、土は粘土質で固く、ササも侵入し畝をつくるのも大変でした。農作業といっても知らないことだらけ、連れ合いもまだ仕事をしていてなかなか手をかける時間もなくて、1、2年目は見た目も無残な畑でした。好意で貸して下さった地主さんにも申し訳ない気持ちになったものです。

一昨年、シニア自然大学校の実習でソバの種まきを体験させてもらい、その時種をもらいました。その種を山の畑にまいたら、あっという間に芽が出て、風にそよぐ、かれんな花が咲き3か月後には、ほんの数粒の種から手のひらいっぱい種が取れたのです。面白い！と思いました。がぜん意欲が湧いてきました。

昨年、これはうまい芋やで！という里芋をもらいました。植えてみましたが葉を全部虫に食べられ水も不足して芋はできませんでした。家族の入院も重なって畑をほったらかしにした結果でした。

ならやまのエコファームは土作りから始まって、みんなが手をかけて畝作り、種まき、施肥、草抜きなどを行っています。野菜は正直、手をかければかけるほどおいしい野菜ができると実感しました。よし！山の畑の農作業にも、と、ならやまの取り組みをまねすることにしました。おかげで5年目の我が家の山の畑は、見た目も美しく（自画自賛ですが）生き生きとした、おいしい野菜が収穫できるようになりました。

今年は落花生の種をもらいました。去年は苗を購入して植えたのですが、なにしろ山です、獣に食べられ、悔しい思いをしました。今年はリベンジ、自宅で大きめの鉢に植えてみました。ならやまの畑と見比べながら育ててみようと思っています。同じくらい収穫できればグッジョブ！です。

景観グループ

福田 美伸

◆ 筍の話と掘り方について

筍の美味しい季節は終わりました。沢山食べすぎて嫌になったのではないのでしょうか。

孟宗竹には、エグミがあり、食べるには少し面倒な食材です。エグミの元はアミノ酸の仲間であるホモゲンチン酸とシュウ酸だそうです。アミノ酸だから美味しいはずなのに？ 掘ってからすぐに茹でればいいのですが、時間経過による酸化が原因とも言われています。しかし、山城の筍は真っ白で時間が経っても、美味しい筍です。



竹は東南アジアが原産で、青森が北限です。北海道には竹はありません。そのため、七夕飾りは柳の木に吊るすとか。東南アジアに、延べ1年半ほど滞在しましたが、筍を食べたという記憶はありません。高級食材でないからか？ 東南アジアでは、生の筍を薄く切って油で揚げるか、炒めるか、また、発酵したものを炒めるか、色んな食材を入れる料理で、日本のように主食材ではありません。

料理も面倒ですが、筍を傷つけることなく掘るのは難しいです。地中の筍を見つけるには、3年から5年生の竹（節が黒くない）の1mほどの周りを歩き周れば、きっと、足の裏に筍の穂先を感じることができます。

料理も面倒ですが、筍を傷つけることなく掘るのは難しいです。地中の筍を見つけるには、3年から5年生の竹（節が黒くない）の1mほどの周りを歩き周れば、きっと、足の裏に筍の穂先を感じることができます。

筍の芽は、2年目の夏ごろから徐々に大きくなり、2年後の2月初めに、沢山雨が降ると、地中で一挙に成長します。「竹は節部に枝を付けます。筍も根っこの節部に芽をつけ。根端に向かって成長し、大きくなるにつれ、曲がって地上に出ます。竹の枝を掃う場合、竹の下方方向からでは、掃えません。竹の穂先の方向からは、簡単に掃えます」

筍を掘るのも同じです。筍の穂先は、根っこの先端方向に少し傾いています。筍の周りの土を取り除き、傾いている方向の3cmから5cm手前を、根っこの上を平行にスコップを、力強く入れることができれば、一発で筍を綺麗に掘り出すことができます。上記の通りできれば、来年、あなたは筍掘士一級に認定されるかも知れません。



里山の今

パトロールグループ

木村 宥子

◆ 観察路 階段の修理

春からのパトロール班は、山の中にある沢山の階段の修理に集中的に取り掛かっています。

横木は直径10cm程のコナラの木など、それに杭を4本ずつ打ってあります。木杭は充分の本数を確保できないので、太い竹を四つ割りにして使うことが多かったのですが、竹は腐りやすいし、木にすべきだという強い声もあり、順次木の杭に替えることになりました。幸い(?) ナラ枯れなどで伐倒された木の枝から、杭を作ることができました。全山で約1000本は必要でしょう。ようやく500本程でき、階段修理にも取り掛かりました。



横木や杭を背負って現場へ

5月は1コースを中心に直しています。腐っている段は横木も新品に替え、まだしっかりしているものは杭だけを取り換えます。小型のカケヤで打ち込みますが、簡単には打ち込めない所もあります。出来上がると私たちは最初の登山者になります。

しかし、丸木といえども木ですから、その内痛み始めるでしょう。この山にプラスチックは似合いませんが、やはり杭だけはプラスチック製の杭に換えることも考えなければならない時が来るかもしれません。

出来上がった杭



階段の修理作業

ならやま虫だより

菊川 年明

里山の今



ならやま花だより

桜木 晴代

◆初夏のシジミチョウ

初夏の ならやまに現れる 2 種のシジミチョウをご紹介します。ミズイロオナガシジミとアカシジミである。シジミチョウ類は貝のシジミになぞらえられるくらい小さいチョウであるから、たくさんいる種類以外は目に止まりにくい。

ご紹介する 2 種のシジミチョウは、どちらも幼虫はコナラやクヌギの葉が餌なので、雑木林の周辺に生息する。翅を閉じて止まっていることが多く、どちらもほぼ 1 円玉に収まる大きさである。

ちなみに、どちらも、ならやまではときどき見かけるチョウであるが、奈良県では希少種に指定されている。

*ミズイロオナガシジミ

止まっているときはたいてい翅を閉じているので、白い地色に黒色のまだらと帯のある裏面を見せている。翅の表面は灰白色であるが、目にすることはめったにない。後翅には繊細な尾状突起がある。活動は夕方、昼間は休んでいることが多い。



*アカシジミ

翅の色彩は表裏とも赤みがかかったオレンジ色であるが、止まっているときは翅を閉じているので、帯状の模様のある裏面を見せている。後翅には前種と同様に繊細な尾状突起がある。本種も活動は夕方、昼間はたいてい休んでいる。



◆ならやまのレンギョウを

ご存知ですか？

バスまたは電車でベースキャンプに通う人は毎年目にする鮮やかな黄色の見事な花の垣根。活動日ごとに蕾がふくらみ、徐々に色づいていく垣根。その黄色い花の名はレンギョウです。

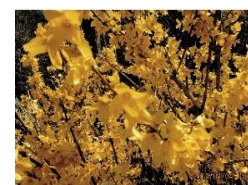
そのレンギョウはならやま会館の向かいの竹藪の道路際に並んで植えられています。「10 年程前に古川さんが挿し木で増やした苗木が立派に育ったのだ」と、どなたかが教えてくれました。

そこで古川さんに取材したところ、やはり 10 年ほど前に水本さんたちと春先に咲く鮮やかな黄色のレンギョウを植えようということになり、古川さんが挿し木で苗を育て移植したということでした。レンギョウには数種類あり色鮮やかなものを選び、水本さんが中心となり熱心に世話をして今日の姿になったとのこと。

花盛り



満開のレンギョウ



苗木

花の後



すでに花は終わってしまっているので来年の予告となりました。まだ見たことのない方は見事ですのでぜひ来年ご覧ください。

これからの季節に目を楽しませてくれるのがアジサイです。西谷さんが手塩にかけた様々な種類の花が咲きます。ぜひひとつひとつの花をご鑑賞ください。今年の蕾



昨年の切り花



平城京天平祭・春 2019 「ものづくり広場」 出展報告

坂東 久平

10連休の後半、5月3日から5日の3日間に、平城京天平祭・春 2019 が開催された。今年は場所が朱雀門ひろばに変更された。

私たちのブースは、「ものづくり広場」の一番奥にあって、広い会場の端でもあり条件はあまり良くないように思われた。



この3日間は、好天で夏を思わせるような暑い日が続いた。県の発表によると初日3日は1万8千人、4日は1万4千人、5日は1万2千人で、3日間で44,000名（昨年43,000名、一昨年44,000名）であった。

私たちは、4日と5日の2日間に出店したが、連休疲れと暑さのためか、ものづくり広場での来場者は昨年に比べ少ないように思った。



今年の、出しものは、「ジュズダマブレスレット」と「竹の鯉のぼり」



の自然工作で、「竹の鯉のぼり」部品は、里山Gのメンバーが主力となり、「ジュズダマブレスレット」部品は、桜木さんが中心になり、それぞれ各200セットを準備した。



スタッフとして、両日共に各17名、延べ34名の会員の参加と、多数の会員に応援来場もいただいた。



広場の入口付近まで出張し、「竹の鯉のぼり」見本を片手に、目星のお子さまに声を掛けていた。

スタッフの心配をよそに、初日の開始と共にお客さまが続々とお見えになり、大変な賑わいを見せた。

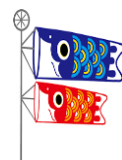
一時は、ブースが満席となり、隣の空き家「青丹」に臨時のスペースを作って対応したりした。



お子さまお一人に保護者4名なども珍しくなく、熱心に写真を撮りながら、技術指導(?)をしていた。

お年寄りのお客さまは、孫へのお土産にと、熱心に制作に励んでおられた。

子供たちの発想は素晴らしく、つぎつぎ名作が誕生した、時間をユックリ使って気の済むまでの工作を楽しんでいただけたと思う。



2日間で155セット（初日：75セット、2日目：80セット）を提供した。

材料の準備、会場への搬入、搬出、会場の運営に協力いただいた、会員及びスタッフの皆さま、ありがとうございました。

（担当幹事：平田・桜木・坂東）

第18回通常総会・報告

小島 武雄

5月18日少し肌寒い中、朝10時より奈良市中
部公民館4階講座室にて、2019年度、第18回通
常総会が開催されました。出席者41名、委任状
提出者99名の140名参加で会員総数の過半数を
満たし、総会は成立しました。

開会宣言の後、議長は徳地恵男さんが選出され
ました。



最初に会長から、2018年度を振り返り、6月6
日に花王本社にて報告機会があり、本会は創設時
の45名から現在の170名まで常に右肩上がりに
会員数が増えている状況、平均年齢が73歳であ
る事、助成金は資金でなく志金である意味を伝え
る。またそれぞれがリセットボタンを押した集ま
りであり、その絆の深まりが、新たに今後の助成
金につながるようにしたいと考えている。本日の
総会審議をよろしく願いしたいとの挨拶があり、
通常総会は始まりました。

第1号議案事業報告、収支報告は、会長、なら
やま委員長、各グループリーダー、会計により報
告されました。また林野庁関連金銭出納簿につ
いては事務局が報告を行ない、最後に会計監査で適
正に処理されているとの監査報告があり、すべて
満場一致で承認されました。

第2号議案、役員選任(補充)については、澤
田好男様、千載輝重様、福田美伸様、吉川利文様
の新役員(任期は1年)が承認されました。

第3号議案の2019年度、第19期の事業計画お

よび予算案についても会長、ならやま委員長、各
グループリーダー、会計により報告され、これも
満場一致で承認され、通常総会は終了しました。



午後からは、場所を「ホテルリガーレ春日野」
に移し、懇親会に先立ち『見つけよう自然のなか
ま・ならやまの昆虫と植物たち』図録集の功労者、
菊川様、木村様、西谷様に感謝状と、記念品が送
られました。また4名の退任幹事にも感謝として
記念品が準備されました。



その後午後3時過ぎまで会員33名の参加者で
懇親会が行われ、ならやまの今後についての意見
交換が交わされました。



5月歴史文化クラブ研修会・報告
馬見古墳の主を求めて
 (馬見古墳群と新沢千塚古墳群を歩く)

坂東 久平

5月14日(火) 歴史文化クラブの研修会を行った。今回は、馬見古墳群(馬見丘陵にある大小約1000基の古墳群)を歩き、4世紀から6世紀にこの地を支配した古墳の主について考えた。次に、5世紀から6世紀に造営された群集墳の新沢千塚古墳群(約600基)を訪問し、古墳群の中にある橿原市博物館で有名な126号墳の金製品を見学した。

お天気は曇り、参加者は25名、生駒交通マイクロスバスで西大寺駅を8時30分に出発した。

最初に北群にある川合大塚古墳を訪問した。古墳は5世紀の前方後円墳で、全長215mで周濠を持つ美しく大きな古墳であった。全員で墳頂に登り巨大さを実感した。



次は、河合町文化財展示室で、町内の馬見古墳群から出土した埴輪の実物などに触れることができた。

馬見丘陵公園に移動し、中央群の乙女塚古墳に行った、古墳は5世紀の全長130mの帆立貝形前方後円墳で、国内第2位の大きさである。周囲を歩き、古墳をバックに全員集合の写真を撮った。



空模様が怪しく、早めの昼食を公園館前の広場で済ました。案の定、雨が降り出したので、予定のナガレ山古墳を省略し、バスで巣山古墳に向か

った。

巣山古墳は4世紀末の前方後円墳で、全長220mで張出や周濠を備えており、馬見古墳群の盟主と目されている。張出部からは死者の霊を運ぶとされる水鳥の埴輪や権威の象徴とされる蓋(きぬがさ)の埴輪などが出土した。大王級の墓とみられている。

三吉石塚古墳は小さな帆立貝形前方後円墳であるが、保存整備が終わり貼り石や円筒埴輪など、築造時の姿がわかる。古墳の上から、隣の新木山古墳(全長200mの巨大古墳)を眺めることができた。



バスで、新沢千塚古墳群に向かった。まず、橿原市博物館で、松木学芸員から古墳群について説明を受けた。小さいものは全長5mから最大は全長40mの前方後円墳まであり、被葬者は不明であるが、中には渡来人とみられるものもある。特に126号墳は22 x 16mの長方形墳であるが、出土品は大変豪華で、古墳のサイズに不釣り合いなものである。ガラス製碗・皿や金銀製の装飾品などで、被葬者は百済王朝末裔のお姫様との説もある。



雨は小降りであったが、希望者は古墳群の散策に出掛けた。遊歩道は舗装されており、小さな古墳群の間を抜けて、126号墳や81号墳を見て、博物館に戻った。



バスの車中と巣山古墳休憩所で、古川さんと坂東から馬見古墳群について解説をしたが、古墳の主は謎のままであったようである。

予定より早く、16時過ぎに西大寺駅に帰着した。

(担当世話役 古川・坂東)

ならやまトーク・投句 新緑編

《ならやま薫風》

図録見てルリタテハだねと声を掛け

鈴木末一

(昨年七月から図録の編集に没頭し、すっかり昆虫オタクに。この間も見つけた蝶に「オイ、キミは○○だね」と。いや、これは昔の癖でした)

里山の空にのびのび鯉幟

八木順一

(自宅にはちよつと大きすぎる鯉幟も、ならやまでは所を得て堂々と天空を泳ぐ。もうすぐ田植え実習です。児童たちが喜ぶでしょう)

畑打つやへりコプターの音高し

西谷範子

(鋏で土を起こし畑を作る。のどかな昔ながらの里山の風景。いい汗、いい気分。突然、頭上からへりコプターの轟音が降ってきた)

タケノコとワラビの煮物暦繰る

岡田安弘

(活動日ごとに折々の山菜料理が振舞われる。まさに料理の歳時記。あれこれ思い出して、行く春を惜しんだことです)

ジャンケンポン初筍の争奪戦

藤原勉

(初物のタケノコは大人気。分けるのは、お決まりのじゃんけん。掛け声にも思わず力がこもる。最初はグー・・・)

タラの芽のどれを残すか手の迷い

古川祐司

(タラの新芽は山菜の王様、今年も荒地のそここでタラの芽が開く。大きな株には、太郎芽、次郎芽、三郎芽・・・どれを残すかな)

《令和改元》

令和へとアンダーハンドパス風光る

鈴木末一

(平成から令和へと時代が移る。順風のならやまにも時移り、世代交代の正念場を迎える。誰に、どのように引き継ぐか。オリンピックのリレーで見たような絶妙のパスワークに期待)

新元号エイプリルフル置き去りに

内河洋文

(多くの人が固唾をのんで見守った新元号の公示。こんな時にエイプリルフル連想した人もいるのですね。感服！)

寝て起きて何も変わらぬ令和かな

岡田安弘

(ウーム ごもつとも。一体、改元で何なんでしょうね)

令和とて豊祝の酒風かほる

古川祐司

(5月4日天平祭のイベント。某酒造会社から早くも「令和」の酒を出展。天平以前から元号の続くお国柄、ビューティフルハーモニーに乾杯)

《新緑吟歩》

三室戸の塔へとうねる躑躅かな

阿部和生

(花の寺といわれる三室戸寺、塔へと続くツツジの波打つ谷筋は見事というほかない。感動の一句)

ブナの森木々の芽吹くや力秘め

中井弘

(大台ヶ原の三津河落山を訪れた時、ブナの森は芽吹き寸前でした。森全体に秘めた生命のエネルギーを感じました)

投句歓迎(古川まで)



今日は明日の昔

岡田 安弘

5月1日、令和の時代に入った。その4日後、ひとつ歳を重ねる。‘元号狂騒曲’は耳障りだが、戦前に生まれ、昭和、平成、令和と我ながらよく生き延びたものだと思う。

振り向けば世話になった人ばかり。それぞれの性格やクセが思い浮かぶ。悪口大好き人間、あわて者に慎重派、電話魔もいる。とつおいつ思案して、はたと気付く。自分の性格を知らない。こんな事を思うのは初めてだ。

子どものころ、父の知人から「笑わん子やなあ」と言われた。近所のお婆さんからは「お節介やきやなあ」と言われた。はっきり覚えている。それだけで性格を決めつけるにはデータ不足というものだろう。成人してからの自分を知りたい。

性格は本人には見えないものらしい。他人は見ているに違いない。付き合いの長い女友達に聞いてみた。「自分大好き人間やね」と一刀両断される。「相手の気持ちが分からない面もあるわよ」と追加されたのには参った。そんな事あったっけ? 「じゃまくさがり」という返信もあった。これ以上は聞く気が失せる。

自分の事は自分です、と誓ったのは定年後。親から叱られた子のように本当だ。嫁は体調のせいで、私とは食事の内容が異なる。常に2セット作っていた。残業や付き合いで、食べるかどうか分からない晩めしを30余年、用意してくれた。もう手間はかけたくない。自炊しようと決める。

枚方市の高齢者料理教室に通う。男女混成クラスだった。専業主婦とおぼしき人が、手際よくレシピをこなしてしまう。仲間の元小学校教師が嘆く。「悪気はないのやが、主婦は手が動くのやろなあ。これではこちらが何も身につかない」。

男だけのクラスがあると分かり、元教師と2人で編入。「爺さん同士のママゴトやなあ」。隣の麻雀教室の生徒に、ひやかされる。

ニンジンの千切りが思い出せない。包丁を手に

立ち尽くす。「このあいだ教えたでしょう」。先生が駆け寄る。あきれられながらも、事情があって退会するまでの7年は続けた。

決めたことは実行する。この性分だけは自覚している。やらない、と決めていることもある。ガスレンジと風呂の掃除だ。近くの銭湯に通う。そこが廃業した。これには参った。シャワーで済ませたところ、とうとう嫁が切れる。「自分の事は自分ですなんて、よう言うわ。自分の事しかないということやんか」。

哲学教授の甥っ子に聞いた。「叔父さんの性格をどう見ている?」。答える前に説教から始まった。学者はこれだから困る。「汝自身を知れ。ソクラテスの言葉といわれているが、正しくはソクラテスが説いたというべきだ」とのこと。「自分を知ることが哲学の目的といっても過言ではない」。これまた大層なこと。

「我思う故に我あり」。彼はデカルトの言葉を引いて、自分＝意識であると言う。「ところが、意識とは何なのかは未だに答えが出ていない。人の意識は覗けない。実は自分の意識も覗けないのです。従って自分という人間に対峙するとき、人がとれる態度は3つしかない」と言う。

ひとつは、不可解だからあきらめて死ぬ。明治時代のこと、第一高等学校生が「不可解」と書き置きして入水自殺した例を挙げる。2つ目は不可解だから考えても仕方ない、と忘れて生きる。3つ目が哲学者の態度で、不可解だからこそ最後まで問い続けるそうだ。とんでもないテーマに首を突っ込んでしまった。

甥っ子が「叔父さんはどうします?」と聞いてきた。応えは決まっているではないか。不可解なんて考えても仕方ない。「忘れることにした」と返信。

こんな言葉を思い出す。室町時代の古謡は、流れる歳月について「昨日は今日の古(いにしえ)、今日は明日の昔」と謡ったそうだ。いま風に言えば、人生は今日の積み重ねという事なのだろう。

くじ運はともかく、他の運は良い方だったと思う。一日、一日、運の無駄遣いをしないようにしたい。



▲パステル画「花」 有元 康人



▲油彩 10 号「アンコールワット第一回廊」
小田 進八郎



▲写真「オジロワシ」 田積 彰男



▲自然工作 田中 克彦



▲陶芸「猫」 小島 武雄

皆さまからのご応募お待ちしております。
絵画・陶芸・写真・墨絵・手芸作品・パッチワーク・切り絵・自然工作など。

仲間入りしました



増田 典男

奈良市は私の生まれ故郷です。結婚後約 50 年、大阪・天王寺区に住んでいます。今年 3 月シニア自然大学校を修了しました。

団塊の世代の行動は世の注目を浴びています。戦後の日本の変化をずっと見てきました。

裸電球や電熱器、蓄音機しかなかった時代からテレビや冷蔵庫など欧米並みの新しい電化製品、国産車、新幹線、高速道路、SNS、目まぐるしい進歩変革の中で暮らしてきました。

そんな世代が老後を迎えます。ゆとりある生活を楽しむはずがいざなってみると現実は厳しく、新たな人生観が望まれます。

奈良・人と自然の会、多くの仲間を迎えられ、また一歩前に進みたいと願っています。

辻 敏美

木津川市加茂町より入会しました辻です。よろしくお願いします。何か新しい事にチャレンジしたいと思っていたところ、テニスで一緒にしている千載さんに、奈良・人と自然の会のことを教えてもらいました。活動内容を聞いたり会報誌を頂いていたので、どんな活動に参加できるか楽しみに待っていました。初日はしいたけの菌打ち、薪割り、どんぐり植え等経験させてもらいました。これからも楽しくいろんな経験をし、少しでもお役にたてればと思っています。自然や生き物大好き、文章や人前で話すのが苦手な私ですが、よろしくお願いします。

坪井 都子

2019 年 1 月元旦、入会いたしました。

私は動物と歴史が好きで、18 年前大阪からこの奈良に引っ越してきました。私の元々の出身地は岡山市の郊外、田畑の経験がなく、土や自然に素朴な憧れと郷愁をもっていました。初めて「ならやま」に足を踏み入れた時、なぜか遠い故郷を感じたのです。奈良の自然環境と歴史的保全に努め

る「奈良・人と自然の会」には再生への力強いエネルギーを感じています。土に触れ自然に向き合っている種々の活動がいつも新鮮であるのに、懐かしさが込み上げてきます。知識も経験も乏しい私ですが、皆さまよろしくお願いいたします。

平馬 一美

10 年か 20 年か前に電車でその駅を通り過ぎた時、「人恋うは 悲しきものと 平城山に~♪」駅名を見て口ずさんだとき「ならば 寧楽とも書く」友人が教えてくれた。

この 4 月から 木曜日にこの駅に降りることを決めた。あのときのあの駅 今このときのこの駅「平城山」心のやすらぎをもとめて。

大原 剛

今、手元に 2 年前の新聞記事の切り抜きがある。「里山保全、楽しみ 10 年」と題した本会の紹介文である。まだ現役で仕事をしていた当時、「暇になればこんな活動もいいなあ」と切り抜き、そのままになっていた。ご縁があったのか、退職後、シニア自然大学校の教育実習で本会の活動を体験する。そこで、田舎で日が暮れるまで野山で過ごした、子どもの頃の懐かしい思い出がよみがえる。

子や孫たちにこんな奈良の自然環境を残していこうとする会員の皆さまとともに活動できることを楽しみにしています。これからの生き方そのままだに、「明るく！楽しく！無理をせず！」

どうぞよろしくお願いいたします。

古結 博邦

名前はコゲツ ヒロクニといいます。枚方市の北の端に 2 年前から住んでおり、それまでは静岡県藤枝市や島田市に長く居ました。今は 50m も歩くと直ぐに京都府に入る所で、近くに石清水八幡宮や三河合流の背割り堤(桜)があります。平城山までの約 25km は 20 万 km 超えのプリウスで 40 分掛けて通う予定です。

活動は、無理せずに楽しく長く続けられたら良いと思っていますので、皆さんよろしくお願いいたします。

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず
活動予定日

6月	6 (木) 13 (木) 20 (木) 27 (木)
7月	4 (木) 11 (木) 18 (木) 25 (木)

◆場所：奈良市佐紀町、奈良阪町、法蓮町、法華寺町にまたがる約 16 haの里山林地（県有林）

◆集合：現地ベースキャンプ地・午前9時

◆終了予定：午後3時

◆アクセス

① JR平城山駅下車：東口から南へ徒歩 10 分

② 近鉄奈良駅：バス 13 番乗り場 115 系統
8：28 発、高の原行き（平日）

③ 近鉄高の原駅：バス 1 番乗り場 115 系統
8：36 発 JR 奈良駅西口行き（平日）

②③とも「佐保台西口」又は「平城大橋」下車
徒歩 7 分

◆携行品など：弁当、飲み物、
軍手（作業用具は現地で用意）

◆環境保護のため、お椀、箸、
コップなどは各自ご持参ください。

◆連絡先：八木 順一



里 山

6/6 協働活動・アダプトプログラム

ホダ木の本伏せ（協働活動）

里山林内枯死木伐倒・枝の整理

薪割り／下草刈り

13 20 27

里山林内枯死木伐倒・枝の整理

薪割り／下草刈り

エコファーム

6/6 協働活動・アダプトプログラム

田植え準備 水路整備／（取水口 排水口）

蕎麦： 南瓜畑の下草刈り

13

佐保台小学校 5 年生田植え

西瓜 胡瓜 トマトカラスよけネット張り

じゃがいも収穫

果樹：イチジクの防鳥ネット張り

20

春の感謝祭（じゃがいも祭り）

南瓜 西瓜 つる整理追肥

蕎麦： 南瓜畑の下草刈り

27 里芋サツマイモ除草追肥

茄子 唐辛子 ピーマン除草追肥

果樹：梅の収穫

景 観

蜜蜂：巣箱周辺草刈り

6/6 協働活動・アダプトプログラム

整備：BC 周辺の草刈り整備（枯死木石ころ）

ビオ池：池整備

花畑：ジャーマンアイリス草取り

ヌスビトハギの整備柵作り

13 整備：彩りの森周辺の草刈り整備

ビオ池：西池生物調査

花畑：茗荷園整備施肥／秋海棠の草取り柵作り

20 整備：彩りの森周辺の草刈り整備

ビオ池：池整備

花畑：フィールド花畑の整備／アイリス撤去

27 整備：実りの森周辺の草刈り整備

ビオ池：池整備

花畑：山野草園の草取り、整備、柵作り

パトロール

6/6 協働活動・アダプトプログラム

丸太階段補修／笹草刈り／希少植物観察会

メイン階段工事予定／3 コースパトロール

13 20 27

丸太階段補修

笹草刈り

パトロールコース：4-1-2

行事案内 part 1



自然教室チーム便り 6月行事案内

初夏の大和民族公園・自然観察会

5月に引き続き、田代貢先生にご案内をお願いし、大和民俗公園周辺にて初夏の自然観察会を実施いたします。

季節により、場所により、出会える植物が変わります。自然との出会いで季節を肌で感じましょう。

普段見過ごしてしまっている植物にも目を向け、この時期成長過程を迎える花や実をじっくり観察いたします。

さて、今回はどんな出会いが待っているでしょう？

毎回ご好評いただいている目からウロコの自然観察会、ぜひ、皆さまもご参加ください。

予約不要の自由参加です。魅力あふれる初夏の自然をみんなで堪能いたしましょう。

多くの方のご参加をお待ちしております。

1. 日 時 :
6月17日(月)午前9時30分～午後3時予定
(注)雨天の場合は中止となります。
2. 集合場所 : 大和民俗公園中央入口
(公園の南側に位置する) 大駐車場の北側
(〒639-1058 大和郡山市矢田町 545)
3. 持参するもの : 弁当、飲み物、雨具、筆記用具、あれば図鑑・ルーペ
4. アクセス : 奈良交通バス (72 系統) で
矢田東山下車 北へ徒歩 10 分
*近鉄郡山駅から JR 小泉駅東口行
…9時05分、9時25分 (乗車 11 分)
*JR 小泉駅東口から近鉄郡山駅行
…8時45分、9時00分 (乗車 17 分)
*車でお越しの方 : 大和民俗公園駐車場使用
5. 雨天の場合の判断 : 前日 19 時前の NHK 天気
予報で降水確率 60%以上は中止
6. 担当 : 自然教室チーム 辻本
桜木、山本 (美)

育英小学校 校庭の自然観察会

実施予告並びにスタッフ募集

奈良市法蓮町の育英小学校より依頼を受け、6月10日(月)午前11時～12時半の予定で校庭の自然観察会を実施します。本観察会は同校の小学1年生と2年生を対象にサイエンス科授業の一環として実施するもので今年8年目を迎えます。

今年は1年生16名、2年生8名が対象です。昨年同様、一般会員の皆さまにもスタッフとして参加していただければと思います。子供たちへの愛情と自然に興味のある方であればどなたも適任です。ぜひスタッフとしてご参加ください。

1. 日 時 : 6月10日(月)

午前10時30分集合、午後1時解散(予定)

2. 集合場所 : 育英小学校 奈良市法蓮町 1000

3. 実施内容 : 校庭の樹木・野草の観察、自然の材料を使った自然工作。雨天決行(雨天の場合は室内で雨バージョンにて実施します)。

4. 担 当 : 自然教室チーム 辻本・桜木・山本

佐保台小学校 放課後子供教室

校庭の自然観察会実施予告並びにスタッフ募集

佐保台小学校放課後子供教室より今年も依頼を受け6月12日(水)午後2時30分～午後4時の予定で校庭の自然観察会を実施します。本観察会は同校の小学1年生から6年生までの児童を対象に実施するもので、上記育英小学校の観察会同様、今年で8年目を迎える自然教室チーム伝統の行事です。

昨年は2・3年生を中心に61名の児童が参加、先方コーディネーターの方の手もお借りし10名で対応いたしました。今年もほぼ同じ数の児童の参加が見込まれますので、一般会員の皆さまにもスタッフとしてご参加いただきたく、広く募集させていただきます。ぜひ、ご参加ください。

1. 日 時 : 6月12日(水)

午後13時30分集合。午後16時30分解散

2. 集合場所 : 佐保台小学校

奈良市佐保台 3-902-341

3. 実施内容その他 : テーマ等は多少変わりますが、内容的には上記育英小学校に同じです。

4. 担 当 : 自然教室チーム 辻本・桜木・山本

行事案内 part 2



春の感謝祭(じゃがいも祭り)

ジャガイモの花

6月20日(木) 12-13時

本格的に暑い夏が足早にやってきました。
今年例年より雨が少なく、エコファームにとって
水不足が頭の痛いところですが、活動日以外にもエ
コ会員が自主的に水やりを実施して、何とか夏野菜
を順調に育ててきました。

今年も丸々と育ったジャガイモを使った春(むしろ初夏)の感謝祭を開催します。

新タマネギ、ニンジンに加えて、ファームの重鎮
である小山さん特製カレーレシピでおいしいカレー
をメインとして、ならやまで育ったピーマン、トマ
ト、ズッキーニ等をふんだんに使った野菜サラダな
ども用意します。

ごはんはこれもならやま有機栽培で採れた黒米入
りを用意します。健康食としての黒米には美肌、美
髪に効果があると言われるアントシアニンがたっぷ
り含まれております。

どうぞ十分召し上がってください。

賄いの女性方に加えエコファームの女性会員の
方々よろしくお願いします。

なお、当日カレー用にお皿、スプーンをお忘れなく。

エコファーム：富江文雄



7月ならやま活動&行事予告

* ならやま活動 (木)

4日 協働活動日

20日 夏だ！休みだ！里山で遊ぼう①

(予備日 27日)

* 自然教室

18日(木) 帝塚山小 アフタースクール

* 歴文研修会

24日(水) 唐古鍵から纏向遺跡への道

* イベント

15日(祝) 山もり・てんこ森イベント

奈良県森林技術センター(高市郡高取町吉備)



奈良学クイズ



【問1】写真の
五重小塔は、国
宝に指定されて
います。

所蔵されている
寺院名をお答え
ください。

【問2】問1の
寺院は、日本最
初の本格的伽藍
である〇〇寺が、
平城遷都にとも
なって新築移転

されたと言われています。〇〇に当てはまる漢字
2文字をお答えください。

【応募方法】

メールにて

【締め切り】6月5日(必着)

【正解者には】???プレゼント

◆ 申し合わせ ◆

* 通常活動日【木曜日】や屋外のイベントは、前日 19時前のNHKの天気予報(奈良気象台17時発表)で、当該地域の午前の降水確率が 60%以上の場合、中止とします。

お問い合わせ:八木

※通常活動日が中止になった場合は、翌日【金曜日】を振替活動日とします。

*臨時活動日を月曜日にすることがあります。
(事前に担当役員から連絡します。)

◆令和の代

- 

新天皇のお言葉「国民の幸せと国の一層の発展、そして世界の平和を切に希望いたします」のように、平和

な世になるよう期待する。

2024 年から、お札の顔が変更になり、一万円札は実業家の渋沢栄一、五千円札は教育者の津田梅子、千円札は医学者・細菌学者の北里柴三郎になる。

渋沢栄一は、農民から出世し、明治政府の財政政策、退官後は実業家に転じ、銀行や理化学研究所、東京証券取引所、学校など多種多様な企業の設立・経営に関わった。それらの功績を元に「日本資本主義の父」と称される。彼は、道徳の上になり立つ経営を目指した。

- ・2019 年度幹事の役割分担は、総会後に発表する。
各 G 内の担当は、G リーダーが決める。
- ・副会長を 1 名増員して、会計庶務と企画推進を担当する。
- ・3 か月と当月スケジュールの検討と確認
- ・ならやまプロジェクト関係
*詳細は、メール連絡、または HP に記載
- ・イベントの担当表を見直した。
- ・新入会員の研修会を提案し承認された。
- ・奈良カトリック幼稚園より約 50 人の園児の稲刈り体験を依頼された報告があり、承認された。

「ならやま」も道德のある活動で、思いやりの精神、アイデアを出し合って、皆で共通の目標を定め、楽しくやりましょう。(行々子)

会報誌[ネイチャーなら]・第209号

1. 図録集：市内 43 小学校に配布。
2. 各助成金の活動内容の報告。

発行：奈良・人と自然の会

URL : <http://www.naranature.com>

[illegible]

1. 第18回通常総会 5/18（中部公民館）
終了後、リガーレ春日野にて懇親会。
図録作成に貢献された菊川、木村、西谷各氏に
感謝状をお渡しする。

編集チム：青木（幸）、青木（芳）

千載、澤田、田代、戸田、山崎、坂東

- ・会報誌 6 月号編成案承認 (18 ページ)

VII 報告・連絡、その他

- ・活動報告と予告：詳細は会報誌掲載
- ・6月度幹事会 5月28日

表紙写真「大通りからの入り口階段の整備」

ならやま大通りからならやま BC への入り口階段の整備作業をしました。(5月2日)

以上